

## 分科会開催報告書

報告日 令和 5年 3月 12日(日)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 尾張藩主徳川慶勝③
開催日時 令和 5年 3月 9日(木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 9名 女 2名 合計 11名 (欠席者2名)	
<p>攘夷決行四月二十三日の期限を延引する理由は、今回の将軍上洛に際し朝廷から加茂行幸を始め寵偶を賜わり、且つ攘夷決行（横浜港閉鎖交渉）は将軍が江戸を留守にしているだけでも代理派遣で行き届くと思われるからである。しかし関東では将軍帰府がなければ人心が離れ志気が上がらず、攘夷実行は困難な状況であり、江戸留守居役（尾張藩主）からも将軍帰府を急飛脚で渴望している。そもそも条約無勅許調印に原因があるので、拳国一致で横浜開港拒絶し攘夷期限を五月十日とする。</p> <p>五月十一日・生麦事件賠償金断然払わずとの儀、水戸藩主より関白鷹司へ早期に御談判有る事。</p> <p>廿八日・水野和泉守より、大樹公からこれまで通り大樹公の補佐を相勤めるべしとの慰留あった由。</p> <p>廿九日・隼人正（尾張藩付家老・犬山城主）から慶勝の将軍への補佐受諾書差出し、又老中宛別紙に本来なら将軍補佐は水戸藩に、又尾張・紀伊御家の儀は若し事あらば京師御守護あるべき儀は神祖家康様の御遺志でもある旨。</p> <p>六月十七日・小御所に於いて龍顔を拝し、永々在京尽力御賞詞のため御太刀一振りを賜う。</p>	
次回予定 令和5年4月13日(木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：尾張藩主徳川慶勝④	